

## 2019年度 一般社団法人日本社会福祉学会事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2019年度は、社会福祉学分野のさらなる学問的水準の向上を図るため、学術研究集会の開催や学会機関誌の刊行などの活動を行った。さらに、国際的な学術交流をより一層深めるとともに、若手・女性研究者に向けたワークショップや研究交流会を実施する等、研究支援の具体的な施策に動き出した年となった。一方で、災害や感染症の蔓延等による研究大会の中止または延期が相次ぎ、研究交流の機会を減少せざるを得なかった一年でもあった。学会としての危機対応等、いくつかの新たな課題が浮き彫りとなったため、具体策の検討を次年度以降への引継ぎ事項としている。

## I. 学術研究集会、講演会等の開催

## 1. 全国大会

## 1) 第67回春季大会報告

「2019年度定時社員総会」開催にあわせて、2019年5月26日(日)に東洋大学白山キャンパスで開催した。「ソーシャルワークの価値再考～「個人の尊厳」の根拠をどこに求めるか～」をテーマにシンポジウムを行い、約200名が参加した。

## 2) 第67回秋季大会報告

2019年9月21日(土)・22日(日)に大分大学旦野原キャンパスで「共生社会の構築に向けて～自立と多様性の共存」をテーマにして開催し、約500名が参加した。台風17号接近の影響により大会二日目の全プログラムが中止となったが、事前に発表辞退を連絡したものを除いて、すべての発表が成立したものと認めることが理事会で決定された。

大会ホームページで『報告要旨集』および『大会プログラム』を公開するやり方については、会員の理解も深まり、かなり定着したように思われる。また今大会においても、事前に申請した大学院生等の学生会員に対して参加費を免除することとし、61名からの大会参加費免除申請があった。

## 3) 第68回全国大会に向けての準備

第68回春季大会は2020年5月31日(日)に大妻女子大学千代田キャンパスで「社会福祉人材—社会福祉のRedesignによる可能性—」をテーマに開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため、理事会で開催中止が決定された。

第68回秋季大会は、2020年9月12日(土)・13日(日)に東北福祉大学国見キャンパスで「死から生を見つめる福祉」をテーマに開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響が継続すると予想されるため、全企画をオンラインで開催する等、参加者の健康と安全に配慮した大会の開催方法を検討している。

## 2. 日本社会福祉学会フォーラム

2019年度は、2019年11月30日(土)に日本福祉大学東海キャンパス(愛知県)で、学会の中部地域ブロックとの共催で「社会福祉と住まい～人間らしい居住の実現に向けて～」をテーマにしてシンポジウムを行った。参加者は約80名であった。

2020年度開催の第17回フォーラムは関西地域ブロックとの共催での開催を予定している。

### 3. 地域ブロック研究大会

各地域ブロックの研究大会については、各地域ブロックからの事業報告に記載されている。

## II. 学会機関誌『社会福祉学』その他刊行物の刊行

### 1. 学会機関誌『社会福祉学』刊行

#### 1) 機関誌編集委員会活動

##### ①機関誌編集委員会構成

2019年度の機関誌編集委員会は以下の17名で構成した（敬称略）。

委員長：柴田謙治（理事）、副委員長：今井小の実（理事）、山田壮志郎（理事）

委員：石川時子、伊藤嘉余子、岩崎 香、金子 充、川島ゆり子、空閑浩人、倉持史朗、  
小泉広子、小林 理、斉藤雅茂、相馬大祐、鶴野隆浩、村田文世、山井理恵

##### ②機関誌編集委員会開催

2019年度には編集委員会を7月7日（日）、10月5日（土）、1月11日（土）、3月16日（月）の計4回開催した。また査読者の選定については、編集委員会ポータルを活用して、5月、8月、11月、2月に実施した。（※3月16日の編集委員会はオンラインで開催）

##### ③拡大編集委員会開催

査読委員を含めた拡大編集委員会を第67回秋季大会にあわせて9月21日（土）12:00～12:30に大分大学旦野原キャンパスにて開催した。

##### ④機関誌のテキストデータの提供

視覚障害のある会員の要請に応じて、『社会福祉学』のテキストデータの提供を行った。

#### 2) 機関誌『社会福祉学』刊行

巻／号	60-1	60-2	60-3	60-4
発行月	2019年5月	2019年8月	2019年11月	2020年2月
論文	6	9	6	6
実践報告	1			
調査報告			1	
資料解題				
書評	2	1	1	1
文献紹介	1	1	1	1
学会回顧・展望			11	
全国大会等				5
総ページ数	128	142	248	124
印刷部数	4,850	4,850	4,850	4,850

2019年度には和文誌を4回（60-1／60-2／60-3／60-4）発行した。なお英文誌「Japanese Journal of Social Welfare」を60-5として刊行予定である。投稿論文4本、掲載論文2本。

### 2. 地域ブロック機関誌刊行

各地域ブロックの機関誌発行状況は、各地域ブロックからの事業報告に掲載されている。

### Ⅲ. 研究の奨励および研究業績の表彰

#### 1. 日本社会福祉学会 学会賞

##### 1) 学会賞審査委員会の開催

2019 年度学会賞の審査委員会は、白澤政和委員長、上野谷加代子委員、黒田研二委員、小林良二委員、三本松政之委員、永岡正己委員と学会賞審査委員会担当理事である岡部卓理事が構成し、2018 年 1 月から 12 月までに刊行された図書及び論文を審査した。

##### 2) 審査対象研究業績

2018 年 1 月から 12 月までの刊行された研究業績の内、会員からの推薦 8 点に加えて、国立国会図書館検索システムから抽出した単著かつ日本社会福祉学会会員が執筆した 20 点、アマゾン日本版の検索サーチから抽出した 8 点より、会員業績の 36 点を審査対象とした。

論文部門は、自薦された 3 本に、2018 年に本学会機関誌（第 58 巻 4 号、第 59 巻 1～3 号）に掲載された論文 22 本を加えた 25 本を審査対象論文とした。

##### 3) 審査の経緯

###### 第 1 回審査委員会（2019 年 3 月 10 日開催）

審査対象となる研究業績を絞り込み、36 点の単著、25 本の論文を第 1 次審査対象とした。

###### 第 2 回審査委員会（2019 年 5 月 24 日開催）

第 1 次審査対象図書の査読結果を報告し、第 2 次審査対象として、5 点の単著、5 本の論文を選考し、委員全員で査読することとした。

###### 第 3 回審査委員会（2019 年 7 月 13 日開催）

第 2 次審査対象図書の査読結果を報告し、総括的審査の結果、全会一致で以下の通り、学術賞 1 名、奨励賞 1 名の授賞者を決定した。

#### ○学術賞

齊藤 雅茂 『高齢者の社会的孤立と地域福祉 計量的アプローチによる測定・評価・予防策』  
(明石書店、2018 年 3 月 24 日刊)

#### ○奨励賞（論文部門）

上白木悦子『緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割遂行の構造に関連する要因』（『社会福祉学』59 巻 3 号掲載）

##### 4) 学会賞授賞式

2019 年 9 月 21 日、第 67 回日本社会福祉学会秋季大会（於：大分大学旦野原キャンパス）において授賞式が行われ、白澤政和委員長の挨拶及び経過報告の後に、金子光一会長より齊藤雅茂氏に学術賞が、上白木悦子氏に奨励賞が授与された。

#### 2. 地域ブロックへの研究奨励

「日本社会福祉学会地域ブロック助成金配分基準」に基づいて、各地域ブロックの研究事業を支援した。各地域ブロックの下の「地域部会委員会」が中核となり、事業計画に基づいて活動が展開された。その事業内容は各地域ブロックからの事業報告に掲載されている。

## IV. 関連学術団体との連絡および協力

### 1. 日本社会福祉系学会連合

会長として本学会の木原活信副会長（任期：2018年5月～2020年5月）を、事務局長として和気純子理事（任期：2018年5月～2020年5月）を、運営委員として小櫃俊介会員と後藤広史会員を派遣している（任期：2018年5月～2020年5月）。また、本学会の学会事務局と同様に、日本社会福祉系学会連合として、加盟学会との連絡、資料作成、経理処理等の事務局業務について（株）国際文献社と委託契約を締結している。

「多様性時代における研究支援と学会のあり方」をテーマに加盟学会にアンケート調査を実施し、その調査結果をもとに日本社会福祉学会第67回秋季大会二日目である2019年9月22日（日）に大分大学において公開研究会の開催を予定していた。台風17号の接近による大会二日目の中止に伴い、2020年3月7日（土）に延期して東洋大学にて開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。なお、調査結果概要については、社会福祉系学会連合ニュース（2020年3月号）に掲載している。

### 2. その他の関連団体との連携

「社会政策関連学会協議会」「社会学系コンソーシアム」「ソーシャルケアサービス研究協議会」「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」に理事等役員を派遣し、連携に努めた。

## V. 国際的な研究協力の推進

### 1. 韓国を始めとする東アジア諸国との連携及び学術交流

#### 1) 韓国社会福祉学会春季学術大会への派遣

2019年4月26日（金）・27日（土）にソウル神学大学にて開催された韓国社会福祉学会春季学術大会に、自由研究発表者6名（5チーム）を派遣した。

#### 2) 中国社会学会社会福祉研究専門委員会第11回年次大会への派遣

2019年11月9日（土）・10日（日）に中山大学（中国広東省）にて開催された中国社会学会社会福祉研究専門委員会第11回年次大会に、学会公式訪問者として金子光一会長、都築光一理事、包敏国際学術交流促進委員、及び自由研究発表者5名（5チーム）を派遣した。

#### 3) 2019年度日・韓・中3カ国学術交流会議について

2019年11月8日（金）、中国社会学会社会福祉研究専門委員会第11回年次大会前日に中山大学にて三か国会長会議を開催し、金子光一会長、包敏国際学術交流促進委員会委員、シンポジストとして招聘された都築光一理事が出席した。会議に先立って、懇親会を行った。

### 2. 在日留学生会員の育成に向けた事業実施

2019年9月21日（土）に大分大学旦野原キャンパスにて開催された第67回秋季大会において、留学生と国際比較研究のためのワークショップを実施した。

## VI. 学会の組織・運営

### 1. 会員の動向

#### 1) 入会について

2019年度の入会許可者数は、138名である。

## 2) 会員の動向

2019年度入会者が138名、2019年度退会者が229名で、2019年4月1日現在の会員数は4,411名である。

## 3) 名誉会員数

2020年5月1日現在の名誉会員は下記の16名である（50音順、敬称略）。

秋山 智久 阿部 志郎 井岡 勉 右田 紀久恵 太田 義弘 大友 信勝  
大橋 謙策 岡本 栄一 岡本 民夫 忍 博次 柏木 昭 児島 美都子  
杉村 宏 田端 光美 中垣 昌美 古川 孝順

## 2. 一般社団法人日本社会福祉学会定時社員総会

「定款」第29条の規定に基づいて、「2019年度定時社員総会」を第67回春季大会に併せて開催した。出席代議員は、133名（委任状95名含む）であった。審議事項および報告事項は、以下の通りである。

開催日時：2019年5月26日（日） 10：00～11：30

開催会場：東洋大学 白山キャンパス 1号館3階 1305教室

### 審議事項

1. (一社) 日本社会福祉学会 2018年度事業報告・決算・監査報告について
2. (一社) 日本社会福祉学会 2019年度事業計画及び当初予算について
3. 名誉会員の推挙について
4. その他

### 報告

1. その他

## 3. 理事会

2019年度は、学会の諸課題を検討し、学会運営を円滑に遂行するために5回開催した。役員構成は、別表一①の通りであり、審議事項は以下の通りである。（報告事項は除く）

### 第1回理事会（2019年5月25日開催）

#### 審議事項

1. 入会審査
2. 2019年度予算案の変更について
3. 2020年度からの中期予算執行方針について
4. 2018年度事業報告、決算報告および監査報告（理事会 ML 審議済）
5. 全国大会運営委員の委嘱について
6. 若手・女性研究者に対する支援検討委員の委嘱について
7. 査読委員の追加について
8. 一般社団法人日本社会福祉学会『社会福祉学』投稿要領の変更について
9. ホームページリニューアルのための業者選定について
10. その他

## 第2回理事会（2019年7月20日開催）

### 審議事項

1. 入会審査
2. 選挙管理委員会の設置および委員の選出
3. 学会賞審査委員の再任手続きおよび新任の選出
4. 機関誌編集委員の交代について
5. 公開情報の期限に関する内規の制定について
6. 学会賞授賞式冊子の審査経過報告について
7. ホームページリニューアルについて
8. GEAHSS のあり方について
9. その他

## 第3理事会（2019年9月20日開催）

### 審議事項

1. 入会審査
2. 2020年度業務委託契約について
3. 学会賞審査委員の委嘱について
4. その他

## 第4回理事会（2019年12月14日開催）

### 審議事項

1. 入会審査
2. 2020年度業務委託契約について
3. 第7期役員候補者選挙管理委員への委嘱について
4. 「一般社団法人日本社会福祉学会代議員選挙規則」および「一般社団法人日本社会福祉学会役員候補者選出規則」等の改正について
5. 入会案内およびマイページ内での専門分野・研究領域の修正について
6. 在野の研究者の研究倫理審査について
7. その他

## 第5回理事会（2020年3月6日～13日メール審議、3月13日決議）

### 審議事項

1. 入会審査
2. 2020年度事業計画案および予算案について
3. 2020年度定時社員総会の議題について
4. 全国大会運営委員の委嘱および解嘱について
5. 論文投稿者による理事会への申し立てについて
6. 韓国社会福祉学会自由研究発表者の選定について
7. 若手・女性研究者に対する支援検討委員会の委員会名変更について
8. その他

## 4. 運営委員会

事業計画を踏まえ事業状況を確認すると共に、各種委員会から提案された課題・報告事項、事務

局会議からの課題・報告事項を確認、整理するために、各回の理事会に先立ち、会長、副会長、総務担当理事、研究担当理事、財務担当理事、機関誌編集担当理事をメンバーとする運営委員会を開催した。

## 5. 監査

定款第 20 条に基づいて、2019 年度上半期の監査を 12 月 9 日に実施し、12 月 14 日開催の理事会で業務状況及び予算執行状況について報告を行った。また、2019 年度全体の監査を 2020 年 4 月 27 日に実施し、理事会および定時社員総会にて、法人の業務および財産状況の報告を行った。

## 6. 各種委員会の活動（委員会構成は別表一②）

### 1) 大会運営委員会

#### 1. 2019 年度において推進した事業

##### (1) 第 67 回（2019 年度）春季大会の開催

テーマ：ソーシャルワークの価値再考～「個人の尊厳」の根拠をどこに求めるか～

月 日：2019 年 5 月 26 日（日）

会 場：東洋大学 白山キャンパス

参加者：約 200 人

##### (2) 第 67 回（2019 年度）秋季大会の開催

テーマ：共生社会の構築に向けて～自立と多様性の共存

月 日：2019 年 9 月 21 日（土）

会 場：大分大学 旦野原キャンパス

参加者：約 500 人

※大会二日目の 22 日（日）は、台風 17 号の襲来により理事会において中止の決定がなされた。なお、当日予定されていた発表については、成立したものと認めることが理事会で決定された。

##### (3) 第 16 回日本社会福祉学会フォーラムの開催

テーマ：社会福祉と住まい～人間らしい居住の実現に向けて～

月 日：2019 年 11 月 30 日（土）

会 場：日本福祉大学 東海キャンパス

参加者：約 80 人

##### (4) その他

委員会の開催（年 5 回）

#### 2. 現在、検討している事項

##### (1) 第 68 回（2020 年度）春季大会の開催準備及び開催中止対応

テーマ：社会福祉人材—社会福祉の Redesign による可能性—

月 日：2020 年 5 月 31 日（日）

会 場：大妻女子大学 千代田キャンパス

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、理事会で開催中止が決定された。

(2) 第 68 回 (2019 年度) 秋季大会の準備及びオンライン開催の検討

月 日 : 2019 年 9 月 12 日 (土) ・ 13 日 (日)

(3) 第 17 回学会フォーラムの内容検討

関西地域ブロックと協議中

(4) 第 69 回 (2021 年度) 秋季大会の準備

2021 年 9 月頃の開催を予定

### 3. その他 (課題等)

大会のあり方検討会の報告の提言のうち、第 67 回秋季大会で実現できなかったものについて、引き続き検討する。

## 2) 学会賞審査委員会

### 1. 2019 年度において推進した事業

#### (1) 学会賞の選考について

業績審査は 2018 年 1 月から 12 月までに刊行された図書及び論文を審査した。

##### ①審査対象研究業績

2018 年 1 月から 12 月までの刊行された研究業績の内、自薦・他薦された図書 (8 点) 以外に、国立国会図書館到着発送情報において社会福祉学に関わる文献として該当する 3,891 点を選び、かつそれらが日本社会福祉学会員の対象業績であるかどうかをチェックした 22 点を抽出した。また、アマゾンリサーチを活用し、「社会福祉 (2018 年刊行)」で検索した結果、上記検索図書以外に会員業績 10 点を抽出することができた。結果として、第 1 次審査委員会へ提案された審査対象著書は合計 40 点になった。

しかし、上記の図書にはルポルタージュや翻訳書、随想、テキストなども含まれており、目次や図書紹介、概要等を検討した結果、最終的に 36 点を第 1 次審査対象著書とすることを決定した。

論文部門は、推薦のあった 3 本と、それ以外に 2018 年に本学会機関誌 (第 58 巻 4 号、第 59 巻 1~3 号) に掲載された論文 22 本の合計 25 本を対象論文として審査することにした。

##### ②審査の経緯

###### ◆第 1 回審査委員会 (2019 年 3 月 10 日開催)

上記の審査対象の研究業績について審査を行った。審査項目は、①研究の意義、視点、方法の明確性、②記述の明晰性、記述表現の妥当性、③先駆性、開拓性、独創性、④研究の完成度、成果度、⑤研究実践上の貢献度の 5 項目とし、各項目の 5 点満点で評価することを確認した。

第 1 次審査を行う著書 36 点について、1 点につき 2 人の審査委員を選び、上記の 5 項目に焦点を当て審査することにした。最終的には審査委員ごとに 9 冊から 12 冊の審査対象図書が割り当てられた。また、自由記述でコメントを付することにした。

論文部門についても著書と同様に審査を行うこととし、審査委員ごとに 7 本から 8 本の論文を担当することになった。

###### ◆第 2 回審査委員会 (2019 年 5 月 24 日)

第 1 次審査対象図書の査読結果を報告し、合計 50 点満点のうち、概ね 35 点以上の図書を第



2次審査対象著書とすることにし、35点未満の図書についても1冊ずつ評価を行った結果、5点を第2次審査対象図書に選定した。論文は5本の論文を第2次審査対象とした。

◆第3回審査委員会（2019年7月13日）

第2次審査対象著書5点、対象論文5本を審査委員全員で評定し、各業績に対してコメントを記載したものを共有した。いずれも評価は高いものであったが、総括的審査の結果、全会一致で以下の授賞候補作が決定し、2019年7月20日開催の第2回理事会にて授賞候補作の理事会承認を得た。

○学術賞

齊藤 雅茂 会員 『高齢者の社会的孤立と地域福祉 計量的アプローチによる測定・評価・予防策』（明石書店、2018年3月24日刊）

○奨励賞（論文部門）

上白木 悦子 会員 『緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割遂行の構造に関連する要因』（『社会福祉学』59巻3号掲載）

（2）学会賞授賞式について

2019年9月21日、第67回日本社会福祉学会秋季大会（於：大分大学且野原キャンパス）において授賞式が行われ、白澤政和委員長の挨拶及び経過報告がなされた後に、金子光一会長より齊藤雅茂氏に学術賞が、上白木悦子氏に奨励賞が授与された。

2. 現在、検討している事項

（1）2020年度学会賞審査委員会の開催について

2020年度学会賞審査委員会は今期から継続の小林良二委員、永岡正己委員に加え、新たに井上英夫委員、野村豊子委員、副田あけみ委員、平野隆之委員が務め、担当理事の岡部卓を含めて7名となる（委員長は小林良二氏）。

第1回審査委員会を2020年2月24日（月）に開催し、第2回審査委員会は2020年5月、第3回審査委員会は2020年7月に開催予定である。

（2）学会賞の選考について

第1回審査委員会にて委員会開催予定の確認、審査基準の確認、審査対象書籍・論文の選定、第1次審査対象書籍・論文の分担を決定した。

第2回審査委員会では第1次審査結果を基に、第2次審査対象書籍・論文を選定、第3回審査委員会では審査結果と受賞候補者を決定する予定である。

3. その他（課題等）

特になし。

3) 研究倫理委員会

1. 2019年度において推進した事業

（1）研究倫理委員会構成

委員長：秋元美世（理事）

委員：都築光一（理事）、荒井浩道（理事）、小松理佐子（会員）、平田厚（会員）

(2) 研究倫理案件発生における委員会対応

- ・当該年度：研究倫理問題が発生しないため委員会召集は行っていない。
- ・「在野の研究者の研究倫理審査について」の相談・協議を行う（会長、事務局長、編集委員長、研究倫理委員長）

2. 現在、検討している事項

特になし。

3. その他（課題等）

「研究倫理規程」、「研究倫理規程にもとづく研究ガイドライン」及び「学会発表に関する注意事項」の継続的な検討

#### 4) 国際学術交流促進委員会

1. 2019年度において推進した事業

(1) 留学生と国際比較研究のためのワークショップの実施

開催日時：2019年9月21日（土）10：00～12：00

開催場所：大分大学 且野原キャンパス 教養教育棟 22号教室

参加者数：約70名

テーマ：海外での留学経験からみた国際比較研究

発題者：浅野 貴博（イギリス留学経験者、ルーテル学院大学）

平澤 恵美（アメリカ留学経験者、明治学院大学）

湯山 篤（韓国留学経験者、大阪市立大学都市研究プラザ）

金 圓景（日本留学経験者、筑紫女学園大学）

呉 懿軒（日本留学経験者、同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程／  
京都市教育委員会スクールソーシャルワーカー）

コーディネーター：国際学術交流促進委員会委員 郭 芳（同志社大学）

(2) 東アジア諸国との連携及び学術交流・推進事業

①日・中・韓三ヵ国協議

開催月日：2019年11月8日（金）

開催場所：中山大学（中国広東省）

出席者：金子光一会長、都築光一理事（シンポジスト）、包敏国際学術交流促進委員会委員、中国及び韓国の学会代表者、国際委員

②2019年度韓国社会福祉学会春季学術大会への派遣：個人自由研究発表者として参加

開催月日：2019年4月26日（金）、27日（土）

開催場所：ソウル神学大学校（Seoul Theological University）

派遣者：5チーム6名（①瀧川賢司、②根岸弓、③村田文世、④鄭瑞河、⑤滝口真、趙廷仁）

③2019年度中国社会福祉学会大会へ個人研究発表者の審査及び派遣

開催月日：2019年11月9日（土）、11月10日（日）

開催場所：中山大学（中国広東省）

派遣者：5チーム5名（①史邁、②孫応霞、③劉鵬瑶、④梁卓慧、⑤索宏）

④2020年度韓国社会福祉学会春季学術大会への個人自由研究発表者審査

2019年11月27日募集、12月16日締め切り、1月審査結果発表

※韓国社会福祉学会の春季学術大会が開催中止となり派遣が取りやめとなった

⑤韓国、中国からの個人自由研究発表者の受け入れ

韓国社会福祉学会

・姜永淑（国立群山大校）

「韓国における社会福祉法人の組織生涯史に関する研究」

・崔美英（韓国放送通信大学社会福祉学科）

「結婚移住女性の結婚満足度が養育効能感に及ぼす影響について：近隣愛着の媒介効果を中心に」

・趙文基（崇實サイバー大校）、丁嬉瑛（崇實サイバー大校）

「韓国における老人療養施設サービス情報公開の標準化に関する研究」

中国社会学会社会福祉研究専門委員会

自由研究発表者の派遣なし

(3) 国際学術交流促進委員会開催

第1回 2019年12月26日 14:00～16:00（於：京都市 同志社大学）

2. 現在、検討している事項

(1) 留学生の研究活動に対する学会としての取り組みについて（情報収集と提供）

第68回秋季大会での留学生・国際比較研究ワークショップ内容・実施案について  
すでに企画案を確定（阪口春彦委員がコーディネーター）

(2) 日中韓国際学術シンポジウム開催実施案について ※韓国・中国への案内連絡調整  
韓国での大会へ向けた準備

3. その他（課題等）

アジア諸国、欧米諸国との学術交流のあり方の検討

5) 広報委員会

1. 2019年度において推進した事業

(1) 広報委員会の開催

第1回広報委員会

開催日時：2019年6月25日 19:00～20:30

開催場所：内閣府

協議内容：HPリニューアルについて

第2回広報委員会・HPリニューアル打ち合わせ

開催日時：2019年7月20日 10:00～12:00

開催場所：(株)国際文献社

協議内容：HPリニューアルについて

### 第3回広報委員会・HPリニューアル打ち合わせ

開催日時：2019年9月11日 14:00～18:00

開催場所：(株)国際文献社

協議内容：①HPのリニューアルについて、②HPの国際化、③学会ニュースについて

### 第4回広報委員会

開催日時：2019年12月14日 12:30～14:00

開催場所：東洋大学

協議内容：HPリニューアルについて

#### (2) 学会ホームページの充実化

ホームページのリニューアルに関して、モバイル化とともにモバイル、タブレットなど多様な端末に対応が可能で、反応が高速なものに充実させたホームページのアクセシビリティを高めるよう、国際文献社と調整した。具体的には、円滑な活用、会員獲得にも貢献できるよう、その内容の検討を行い、作成されたものの内容確認など取り組んだ。学会との関係では、ルール作り(5年ルールで保存)、地域ブロックとの連絡、など調整を行い、新たなデザインによるホームページを完成した。

#### (3) ホームページの国際的な対応

学会ホームページの中国語、韓国語のサイトの追加を行った。それにともなって、日本語サイトにおいて「国際関係」のサイトを作成し、今までの中国・韓国とのシンポジウム等の交流に関する報告を充実させた。

#### (4) 学会ホームページの運営・管理

新着情報の掲載と情報の更新を行った。

#### (5) 「広報委員会だより」の発行 ※年5回の一斉送信

学会の最新情報および関連団体の動向などを中心に配信し、事務局業務関連連絡は「事務局からのお知らせ」として学会事務局が随時送信した。

第44号(2019年4月25日)、第45号(2019年7月19日)、第46号(2019年10月25日)、第47号(2019年12月25日)、第48号(2020年3月3日)

#### (6) 「学会ニュース」の発行 ※ホームページ上に年3回掲載

最新の情報や関係団体の動向等、タイムリーな情報提供を行った。

シリーズ・クローズアップは、前年度に引き続き「社会福祉学の未来への視座」に取り組んだ。哲学、医学、法学、公衆衛生など隣接領域のディシプリンを持つ学会員の先生方より、俯瞰的に見てクローズアップされている出来事がどのように見えるのか、ヒントをいただくようなコーナーとする。トピックを毎回検討し、執筆者に原稿を依頼し、公開した。

第81号(2019年7月2日)、第82号(2019年11月12日)、第83号(2020年2月4日)

## 2. 現在、検討している事項

- ・新しく製作したホームページを運用しながら、引き続き掲載内容等について点検作業を行い、定期的な修正に合わせた修正や追加を行う。
- ・ホームページのリニューアルによる対外的広報の強化に活用する。
- ・ハッキングなどに備えたリスク管理を強化するための対応策を検討する。
- ・引き続き、国際的に対応できるようにホームページを充実させる。中国や韓国の研究者に必要な

な情報を掲載できるように、国際学术交流促進委員会と連携を図り、対応する。

- ・わかりやすいパンフレットなどの作成を検討する。

### 3. その他（課題等）

- ・若手の意見や柔軟な発想を吸い上げ、パンフレット作り等に取り組むことで、学会の広報活動等に関してできるだけ躍動する組織を作る。
- ・リニューアルに関する残された課題に対応する。

## 6) 機関誌編集委員会

### 1. 2019 年度において推進した事業

#### (1) 学会機関誌『社会福祉学』刊行

##### ①機関誌編集委員会活動

##### i. 機関誌編集委員会構成

2019 年度には以下の 17 名で機関誌編集委員会を構成し、業務にあたった。

委員長：柴田謙治（理事）、副委員長：今井小の実（理事）、山田壮志郎（理事）

委員：石川時子、伊藤嘉余子、岩崎 香、金子 充、川島ゆり子、空閑浩人、  
倉持史朗、小泉広子、小林 理、斉藤雅茂、相馬大祐、鶴野隆浩、  
村田文世、山井理恵

##### ii. 機関誌編集委員会開催

2019 年度には編集委員会を計 4 回開催した。

開催日：7 月 7 日（日）、10 月 5 日（土）、1 月 11 日（土）、3 月 16 日（月）

また査読者の選定については、編集委員会ポータルを活用して、5 月、8 月、11 月、2 月、  
に実施した。（※3 月 16 日の編集委員会はオンラインで開催）

##### iii. 機関誌拡大編集委員会開催

査読委員を含めた拡大編集委員会を、第 67 回秋季大会にあわせて開催した。

開催日時：9 月 21 日（土）12：00～12：30

開催会場：大分大学旦野原キャンパス 経済学部 203 号教室

##### ②機関誌「社会福祉学」刊行

2019 年度には和文誌を 4 回（60-1／60-2／60-3／60-4）発行した。なお英文誌「Japanese Journal of Social Welfare」を 60-5 として刊行予定である。投稿論文 4 本、掲載論文 2 本。

#### (2) 地域ブロック機関誌刊行

各地域ブロックによる機関誌の刊行については、各地域ブロックからの事業報告に掲載されている。

### 2. 現在、検討している事項

『社会福祉学』の「学会回顧と展望」における「国際部門」について、欧米とアジア、比較福祉国家論を総合的に把握し、論じることができる執筆者を確保することが困難であり、「国内における国際的な福祉課題」も視野に入れる必要があるため、2020・2021 年度にはこの部門を休

止し、次期の編集委員会でこの部門のあり方について、検討する。

### 3. その他（課題等）

特になし。

## 7) アーカイブ化推進委員会

### 1. 2019年度において推進した事業

#### (1) 岡本民夫名誉会員宅での学会創設時に関する写真史資料の確認と収集

日時：2020年1月26日（日）10：00～12：30

#### (2) 史資料の確認

- ①日本社会福祉学会『社会福祉学 社会福祉と教育・医療付・日本社会福祉学会発表目録』第13号, 1972年（1冊）
- ②『資料 日本社会福祉学会発表目録』『社会福祉学』第13号抜き刷り（1972年9月30日刊）（1冊）
- ③内田守編輯兼発行『第13回 日本社会福祉学会研究発表論集』（昭和40年11月）熊本短期大学附属社会福祉研究所（昭和41年8月23日）（2冊）
- ④『第14回 日本社会福祉学会 研究報告要旨』立正大学（昭和41年11月12日・13日）（1冊）
- ⑤『第15回大秋・研究報告要旨 日本社会福祉学会』日本福祉大学（1967年11月11日・12日）（1冊）
- ⑥『第18回 大会発表要旨 日本社会福祉学会 70年代の社会福祉の研究課題』四国学院大学（1970年11月2日・3日）（3冊）
- ⑦『第34回大会プログラム 日本社会福祉学会 高齢化社会における社会福祉の再検討』淑徳大学（昭和61年11月15日・16日）（1冊）
- ⑧日本社会福祉学会第36回大会準備委員会編集発行『第36回大会報告要旨集 日本社会福祉学会 変革期の社会福祉—人権視点の検討—』東北福祉大学（昭和63年10月9日・10日）（1冊）
- ⑨内田守編輯発行『九州の社会福祉』創刊号、日本社会福祉学会九州支部（昭和41年11月9日）（1冊）
- ⑩岡本民夫・遠山誠・菊池義隆『抜粋 社会福祉関係文献情報処理システム —開発研究と実用化・社会福祉文献データの活用—』（1984年推定年）（1冊）

#### (3) 岡本民夫名誉会員へのインタビュー記録

### 2. 現在、検討している事項

学会事務局保管の80箱を確認する作業の実施計画と着手、学会創設時の会員による記憶の記録化の検討と実施、それぞれ委員会活動企画を検討し、日時を調整して委員会活動として合同実施する予定である。

### 3. その他（課題等）

特になし。

## 8) 若手・女性研究者に対する支援検討委員会

### 1. 2019年度において推進した事業

#### (1) スタートアップ・ワークショップの企画・運営

- ・第67回秋季大会における「スタートアップ・ワークショップ」の企画・運営

開催日時：2019年9月21日（土）10：00～12：00

テーマ：「社会福祉研究における研究費獲得に向けたワークショップ」

開催場所：大分大学旦野原キャンパス

参加者数：約50名

- ・第68回秋季大会における「スタートアップ・ワークショップ」の企画

テーマ：研究者としてのキャリア形成について考える

－初期キャリアをどのように形成していくか－

#### (2) 支援方策の具体化に向けた活動

- ・第67回秋季大会において「若手研究者交流会～NOVICE to EXPERT」の場を設定し、若手会員のネットワーク化を図った。

開催日時：2020年9月8日（土）12：00～13：00

開催場所：大分大学旦野原キャンパス

参加者数：約40名

- ・第68回秋季大会における「若手研究者交流会」の企画をおこなった。
- ・若手会員のメーリングリストの作成に向けて作業を進めた。
- ・学生会員の経済的支援として、年会費の減額、大会参加費（非会員を含む）の減免にかかわるデータを収集し検討の素材としてまとめた。
- ・40歳以上で研究歴の浅い会員の実態と支援課題を明らかにすべく、WEB調査実施に向けて検討した。
- ・人文社会科学系学協会男女共同参画推進部会（GEAHSS）の活動に参加し、他学会との連携を図った。

### 2. 現在、検討している事項

- ・若手会員のメーリングリストを作成し、若手研究者の相互交流や情報発信のツールとしての運用に向けて作業を進める。
- ・セミナー、研修の企画について検討する。
- ・40歳以上で研究歴の浅い会員の実態把握と、それを踏まえての支援方策について継続して検討する。

### 3. その他（課題等）

特になし。

1. 2019年度において推進した事業

(1) 理事会の開催 (3回開催)

第1回理事会

日 時：2019年5月19日(日) 12:00～

場 所：北星学園大学第2研究棟第3共同研究室

第2回 理事会+研究活動委員会

日 時：2019年7月12日(金) 18:30～

場 所：北星学園大学 第2研究棟第3共同研究室

第3回 理事会+研究活動委員会

日 時：2019年11月14日(木) 18:30～

場 所：北星学園大学 第2研究棟第3共同研究室

(2) 北海道社会福祉学会 総会・研究大会

1) 基調講演・研究大会

日 時：2019年5月19日(日) 13:00～16:00

場 所：北星学園大学C館702教室 参加者：約15名

研究発表：2題

基調講演：安井友康会員(北海道教育大学)「障がい者のスポーツ参加と地域福祉」

2) 北海道社会福祉学会総会

日 時：2019年6月2日(土) 14:00～15:00

場 所：北星学園大学C館702教室 出席者：15名

議 題：①報告事項

1) 2018年度 事業報告

2) 2018年度 収支決算報告

3) 2018年度 監査報告

②議決事項

1) 2019年度 事業計画(案)

2) 2019年度 予算(案・暫定)

(3) 北海道社会福祉学会 シンポジウムの開催 【中止】

日 時：2020年3月1日(日) 14:00～

場 所：旭川市民文化会館 第2会議室

テーマ：不安定化する「家族」ーソーシャルワーカーの抱く家族像の二面性と葛藤ー

シンポジスト：長濱章雄氏(希望学園)、中澤香織氏(札幌大谷大学短期大学部)、

田中敦氏(レターポストフレンド)、藤原里佐氏(北星学園大学短期大学部)

主旨説明・コーディネーター：松岡是伸会員(北星学園大学)

※申込者は約20名(QRコード・メール)



(4) 院生・若手研究会

1) 第1回 院生・若手研究会

日 時：2019年12月16日（月）19：00～

会 場：北海道医療大学 参加者：6名

自己紹介および参加者の近況報告を行った

※年度内に第2回開催を予定していたが感染症対策で実施できなかった

2) 日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会参加交流 【中止】

日 時：2020年3月8日（日）

会 場：駒澤大学 参加者4名（研究発表者2名 大会参加者2名）予定

※研究発表者・大会参加者とも参加を辞退する予定であったが、開催自体が中止となる。

※研究発表予定であった2名の報告は、抄録集原稿をホームページで公開することで発表成立として扱われた。

<http://www.jsssw-kanto.jp/assets/files/syourokusyuu.2019.pdf>

(5) 研究活動担当理事・委員会活動

1) 研究活動委員会

第1回 研究活動委員会

(再掲) 日 時：7月12日（金）18：30～

場 所：北星学園大学 第2研究棟第3共同研究室

第2回 研究活動委員会

(再掲) 日 時：11月14日（木）18：30～

場 所：北星学園大学 第2研究棟第3共同研究室

2) 研究会の開催

北海道社会福祉学会シンポジウム 研究会 参加者：約10名

日 時：2020年2月1日（土）14：00～

場 所：北星学園大学 第2研究棟地下第2会議室

※3月1日シンポジウムにかかわる打ち合わせも兼ねた研究会を開催した

3) 学会ニュース

学会ニュース① 2019年4月発行

学会ニュース② 2019年8月発行

学会ニュース③ 2020年1月発行

(6) 機関紙編集委員会

1) 編集委員会

第1回：編集委員会

日 時：2020年1月27日（月）

場 所：北海道医療大学サテライトキャンパス アスティ4・5 12階

第2回以降

第1回編集委員会以降は・新型コロナに留意する観点で集合しての委員会は開催せず、その後の再査読結果の扱い等についての検討はメールによる稟議を行いました。

## 2) 機関誌の編集・発刊

「北海道社会福祉研究」第40号（電子ジャーナル）発行

2020年3月発行 論文2本 調査報告2本

### 【論文】

「ホームヘルパーは「重度知的障害者」との関わりをどのように経験しているのか？

ー現象学的アプローチによる記述と分析を通してー」

久野 真知子（北星学園大学社会福祉学研究科博士後期課程）

「成年後見人等による医療同意の現実と同意権付与を可能にする諸条件

ー社会福祉士の後見実務に関するインタビュー調査からー」

堀田 満生（社会福祉法人音更町社会福祉協議会）

鈴木 道代（札幌医学技術福祉歯科専門学校（非常勤講師）

### 【調査報告】

「北海道旭川市の精神保健医療福祉の形成過程における精神保健ソーシャルワークの所在」

永井 順子（北星学園大学）

松浦 智和（名寄市立大学）

「いじめ被害経験を有する学生のレジリエンス資源」

米田 龍大（北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士後期課程）

中村 和彦（北星学園大学大学院社会福祉学研究科）

志渡 晃一（北海道医療大学大学院看護福祉学研究科）

大友 芳恵（北海道医療大学大学院看護福祉学研究科）

## 2. 現在、検討している事項

- ・遠隔地会員の参加促進について

## 3. その他（課題等）

- ・新型コロナウイルスの蔓延に伴い、開催が中止となった学会シンポジウムを再開するか否かの検討が課題である。
- ・札幌圏以外の遠方の会員の学会参加の促進が課題である。

# 東北地域ブロック 2019 年度 事業報告書

## 1. 2019年度において推進した事業

### (1) 実施事業

- 1) 研究大会
- 2) 研究誌の発行

3) ニュースレターの発行

4) 幹事会の開催

(2) 研究大会

1) 開催年月日 2019年7月27日(土)

2) 開催会場 岩手県立大学 滝沢キャンパス

3) 開催テーマ 地域を基盤とした高齢者の生活支援とコミュニティづくり

4) 開催内容 基調講演 「見守りと生活支援—高齢者の孤立防止とコミュニティ形成—」

講師：岩手県立大学 小川 晃子 氏

シンポジウム「見守りと生活支援における連携」

コーディネーター：川上 富雄氏(駒澤大学)

シンポジスト：紺野 敏昭氏(こんの脳神経内科：脳神経外科クリニック院長)

松本まゆみ氏(ヤマト・スタッフ・サプライ(株))

右京 昌久氏(岩手県社会福祉協議会)

自由研究発表 18題

(3) 研究誌の発行『東北の社会福祉研究』第15号発行

(4) ニュースレターの発行

第24号(2019年6月発行)

第25号(2020年2月発行)

(5) 幹事会の開催

第1回(2019年5月) 岩手県立大学アイーナキャンパス

第2回(2019年7月) 岩手県立大学滝沢キャンパス

2. 現在、検討している事項

1) 2019年度は、東北部会発足60周年であるので、その記念事業の企画内容について検討した。

3. その他(課題等)

特になし。

**関東地域ブロック 2019年度 事業報告書**

1. 2019年度において推進した事業

(1) 運営委員会の開催

○第1回(2019年7月4日)、第2回(9月30日)、第3回(12月12日)の計3回開催(於：駒澤大学駒沢キャンパス)

○各部会活動の実施・運営(広報委員会、機関誌『社会福祉学評論』編集委員会、大会担当委員会、その他)

## (2) 研究大会の開催（中止）

○2019年度研究大会（於：駒澤大学駒沢キャンパス）を2020年3月8日（日）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止となった。自由研究報告（26演題）については、抄録集をホームページで公開することで誌面発表とし、成立したものとして扱った。

- ・大会テーマ：社会福祉学教育と専門職養成
- ・基調講演：白澤政和氏（国際医療福祉大学大学院）「社会福祉学教育と専門職養成」
- ・シンポジウム：
  - ・ 坂 洋一氏（日本女子大学）「社会福祉学教育の今日的課題：原理・政策系科目を中心に」
  - ・ 久保美紀氏（明治学院大学）「ソーシャルワーク教育における社会福祉士・精神保健福祉士養成—そのビジョンを再考する」
  - ・ 杉野昭博氏（首都大学東京）「学と実践のアイデンティティと専門職資格」
  - ・ 丸山 晃氏（東京社会福祉士会）「福祉専門職の専門性と社会福祉学教育」
  - ・ コーディネーター：中島 修氏（文京学院大学）
- ・自由研究報告：26演題（研究報告部門8演題、萌芽的研究報告部門16演題、実践報告部門2演題）

## (3) 機関誌『社会福祉学評論』の刊行

- ・ 査読・編集体制の整備を継続して実施
- ・ 2019年度の投稿数は19本
- ・ 電子ジャーナルで2019年度に論文4本を刊行

## (4) 広報活動

### ○ホームページ

- ・ 電子ジャーナル化された機関誌『社会福祉学評論』の一般公開をメインに、研究大会抄録集等をPDFで掲載。その他、関東地区で開催の公開講座・講演会、博士論文公開審査、最終講義の情報等を紹介するページを設置
- ・ 一日あたりのアクセス数は200～300件程度

### ○会員情報管理システムによるメール配信サービスと連携し、情報発信を実施

- ・ メールマガジンの配信

### ○ニューズレター

- ・ ニューズレターを紙媒体で発行し、関東地域ブロック会員に郵送

## 2. 現在、検討している事項

- ・ 機関誌『社会福祉学評論』の査読・編集体制について継続的に検討
- ・ 各部会活動の連絡・調整の促進
- ・ 地域ブロック間の交流

## 3. その他（課題等）

- ・ 経費削減

- ・事務局体制のシステム化
- ・災害、感染症等の緊急事態への対応

## 中部地域ブロック 2019年度 事業報告書

### 1. 2019年度において推進した事業

#### (1) 研究例会の開催

事業計画に基づき、4月20日（土）に、愛知産業労働センター（ウインクあいち）にて、2019年度研究例会を開催した。内容は以下の通り。

##### ①大学院生・若手研究者のための勉強会

- ・テーマ：修士課程修了後のキャリア形成
- ・話題提供者：寺田恭子氏（桜花学園大学保育学部教授）

##### ②シンポジウム「社会福祉の『監視化』を問う」

###### 1) 記念講演「再犯防止とソーシャルワーク」

講師：藤原正範氏（鈴鹿医療科学大学教授・日本司法福祉学会長）

###### 2) パネルディスカッション

- ・パネリスト
  - 「児童虐待防止の視点から」井上薫氏（同朋大学教授）
  - 「福祉事務所の視点から」桜井啓太氏（名古屋市立大学准教授）
  - 「精神保健医療福祉の視点から」樋澤吉彦氏（名古屋市立大学准教授）
- ・コメンテーター：伊藤文人氏（日本福祉大学准教授）
- ・コーディネーター：湯原悦子氏（日本福祉大学教授）

#### (2) 機関誌『中部社会福祉学研究』第11号の刊行

2020年4月末に第11号を刊行する。上記の春の研究例会の内容を掲載するほか、論文5編、研究ノート1編、書評3編を掲載する予定。日本社会福祉学会ウェブサイトの中部ブロックページに掲載する。

#### (3) 「院生・若手研究者のための勉強会」の開催

上記の通り、4月20日（土）の研究例会に合わせて開催した。

#### (4) 日本社会福祉学会フォーラムの開催

11月30日に、日本社会福祉学会との共催により、日本福祉大学東海キャンパスを会場に、第16回日本社会福祉学会フォーラムを開催した。71名の参加があった。「社会福祉と住まい～人間らしい居住の実現に向けて～」をテーマに、以下の内容で実施した。

##### ①基調講演「すべての人のくらしを支える“社会福祉と住まい”をめぐる問題状況」

講師：児玉善郎（日本福祉大学学長）

##### ②シンポジウム「居住支援の取り組みと社会福祉」

シンポジスト

大西 連（認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長）

牧嶋 誠吾（大牟田市立病院地域医療連携室次長・元大牟田市建築住宅課長）  
杉本みさ紀（公益社団法人愛知共同住宅協会・弁護士）  
コメンテーター 石川久仁子（大阪人間科学大学）  
コーディネーター 児玉 善郎（日本福祉大学学長）

#### （5）その他

部会の事業運営について協議するための幹事会を3回（6月、9月、1月）開催した。また、部会内に、①機関誌、②院生・若手研究者のための勉強会、③研究例会について検討する委員会をそれぞれ設置し、適宜会議を行った。

#### 2. 現在、検討している事項

2020年度の研究例会を2020年4月18日に開催する予定にしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止することとなった。

#### 3. その他（課題等）

特になし。

### 関西地域ブロック 2019年度 事業報告書

#### 1. 2019年度において推進した事業

##### （1）理事会の開催

- ・第1回 日時：2019年7月25日（月）19：00～  
場所：関西大学梅田キャンパス  
議題：1. 2018年度決算について  
2. 2019年度年次大会について  
3. 若手研究者・院生情報交換会について  
4. 2019年度『関西社会福祉研究』について  
5. その他
- ・第2回 日時：2020年2月20日（木）メーリングリストによる持ち回り審議  
議題：1. 新型コロナウイルス感染状況への対応について  
①年次大会（3月1日）  
②第47回若手研究者・院生情報交換会（2月22日）
- ・第3回 日時：2020年2月21日（金）  
議題：1. 大会中止に伴う自由研究発表の取り扱いについて  
2. その他
- ・その他メーリングリストを活用して、必要に応じて情報を共有し、意見交換をした。

##### （2）若手研究者・院生情報交換会

- ・第45回若手研究者・院生情報交換会  
テーマ：社会人院生による実践研究（その1）研究と実践の《両立》と倫理的配慮

日 時：2019 年 11 月 17 日（土）14：00～16：45

場 所：大阪府立大学 I-site なんば（2 階 S5 教室）

コーディネーター：伊藤嘉余子（大阪府立大学 教授）

コメンテーター：山中 京子（大阪府立大学 名誉教授）

報告者：

- ・永井 義雄 大阪府立大学大学院博士前期課程 2016 年 3 月修了／堺市 健康福祉局
- ・小川 裕子 大阪府立大学大学院博士前期課程 2014 年 3 月修了／元：生活保護施設相談
- ・増井香名子 大阪府立大学大学院博士後期課程 2017 年 3 月修了／元：大阪府社会福祉職／現：新見公立大学 講師

・第 46 回若手研究者・院生情報交換会

テーマ：社会人院生による実践研究（その 2）リサーチクエスチョンを解決するための研究方法に  
焦点を当てて

日 時：2020 年 1 月 25 日（土）14：00～17：00

場 所：佛教大学紫野キャンパス 1 号館 305・306 教室

助言者：小山 隆（同志社大学教授、日本ソーシャルワーク学会会長）

司会・進行：伊部 恭子（佛教大学教授）

報告者：

- ・上田 純子（佛教大学通信教育課程社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程）  
「重度障害児とその家族が直面する諸課題に関する一考察」
- ・竹森 美穂（佛教大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程）  
「ソーシャルワーカーの継続学習における専門職団体の機能に関する研究」
- ・岡本 晴美（広島国際大学教授／同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了）  
「社会福祉施設における人材育成システムの基礎的研究—児童養護施設における取組みを通して」

・第 47 回若手研究者・院生情報交換会

（※新型コロナウイルス感染への対応により開催中止。以下のプログラムを実施予定であった。）

テーマ：若手研究者の研究と教育の両立、キャリア形成の意味

日 時：2020 年 2 月 22 日（土）15：00～17：50

場 所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館 102

15：00～15：05 開会挨拶

15：05～15：45 基調講演 野村裕美（同志社大学社会学部准教授）

15：45～16：45 報告 孔栄鐘（佛教大学社会福祉学研究科博士後期課程）  
深川光耀（花園大学社会福祉学部専任講師）  
朴恵彬（関西福祉科学大学）

16：45～17：00 休憩

17：00～17：40 グループワーク

17：40～17：50 総括

18：10～ 懇親会

### (3) 年次大会の開催

(※新型コロナウイルス感染への対応により開催中止。以下のプログラムを実施予定であった。)

日本社会福祉学会関西地域ブロック・関西社会福祉学会 2019 年度年次大会

テーマ：ソーシャルワークと保育・子育て支援～専門性・業務・担い手～

開催日：2020 年 3 月 1 日 (日)

場 所：頌栄短期大学

参加費：無料

プログラム

10：00～12：00 自由研究発表

12：10～13：10 昼食・休憩

13：10～13：50 日本社会福祉学会関西地域ブロック・関西社会福祉学会総会

13：50～14：00 会長挨拶・開催校挨拶

14：00～16：30 シンポジウム

テーマ：ソーシャルワークと保育・子育て支援～専門性・業務・担い手～

シンポジスト：直島 正樹 (相愛大学 教授)

小口 将典 (関西福祉科学大学 准教授)

狭間香代子 (関西大学 教授)

コメンテーター：谷村 誠 (社会福祉法人みかり会理事長、兵庫県社会福祉法人経営者協議  
会会長)

コーディネーター：橋本 好市 (神戸常盤大学 教授)

16：30 閉会

### (4) 機関誌の発行

機関誌『関西社会福祉研究』第 6 号 2020 年 3 月発行

## 2. 現在、検討している事項

特になし。

## 3. その他 (課題等)

特になし。

# 中国・四国地域ブロック 2019 年度 事業報告書

## 1. 2019 年度において推進した事業

### (1) 部会委員会の開催

中国・四国ブロックの会員より 15 名の役員を選任し、委員会を 3 回開催した。

①6 月 15 日 (土) 場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館

②12 月 7 日 (土) 場所：ノートルダム清心女子大学

③3 月 14 日 (土) 場所：ノートルダム清心女子大学



(2) 中国・四国地域ブロック第 51 回高知大会の開催

①開催日時場所等

7 月 13 日 (土) 担当校：高知県立大学

②テーマ「中国・四国での福祉人材確保－日本人の就労と外国人の受け入れ－」

③内容 基調講演「中国・四国での福祉人材確保－日本人の就労と外国人の受け入れ－」

講師 岡崎 仁史 (広島国際大学 名誉教授)

シンポジウム「中国・四国地方での福祉人材確保－日本人の就労と外国人の受け入れ－：  
教育と職場の実践例－」

(3) 中国・四国地域ブロック総会の開催

①開催日時場所等

7 月 13 日 (土) 13:30～13:45

高知県立大学

②議案

第 1 号議案 2018 年度事業報告および決算、監査報告

第 2 号議案 2019 年度事業計画 (案) および予算 (案)

③報告

- 1 機関誌『中国・四国社会福祉研究』について
- 2 2019 年度社員総会報告
- 3 2018 年度地域ブロック大会
- 4 その他

(4) 中国・四国地域ブロック特定課題研究

新たに「中国四国地方での福祉人材確保問題」をテーマに課題研究を行うこととした。2019 年 3 月 9 日に特定課題研究会を実施したことを踏まえ、2019 年度のブロック大会のテーマを「中国・四国での福祉人材確保－日本人の就労と外国人の受け入れ－」として行った。

(5) 中国・四国地域ブロック会報の発行

①発行回数 年 2 回 (9 月 18 日、2 月 14 日)

②内容 担当理事による巻頭言、地域ブロック大会等の案内、機関誌投稿の案内

(6) 中国・四国地域ブロック機関誌の編集

『中国・四国社会福祉研究』第 6 号を発刊した。第 7 号、第 8 号の発刊に向けて、原稿を募集し、編集作業を行った。

2. 現在、検討している事項

- ①会員減少が顕著になっている。近年、ブロック内で社会福祉士養成を廃止する大学が相次いでおり、減少に拍車がかかる恐れがあり、対策が求められている。
- ②学会の取り組みに呼応して、若手研究者や女性研究者への支援がブロックとしても求められている。

### 3. その他（課題等）

- ①機関誌の発行が遅れがちになっている。投稿について、査読者確保が困難であり、発行の遅れの原因となっている。
- ②ブロック大会は開催校の努力により、一定数を確保できているが、それは開催校の社会福祉関係者への呼びかけが功を奏しているからであって、会員の参加が必ずしも活発ではない状況が続いている。会員による大会の活性化が必要である。また、今後の開催校の見通しを明確にしていく必要がある。
- ③各大学での多忙化などのより、ブロック委員会の出席率の改善が進んでいない
- ④特定課題研究の取り組みを、ブロック全体で共有していく必要がある。

## 九州地域ブロック 2019年度 事業報告書

### 1. 2019年度において推進した事業

#### (1) 運営委員会の開催

2019年度の運営委員は昨年度と同じ5名、また、事務局体制として福岡県立大学事務局（主に、会計業務担当）および鹿児島国際大学事務局（その他の業務（総会・運営委員会等準備・開催、機関誌編集・発行、他））であった。

運営委員会の開催は次の通りである。

##### 第1回運営委員会

開催日時：2019年6月8日（土）10：00～12：00

開催場所：北九州市立大学 B-402 教室

議題：定期総会資料の確認等

##### 第2回運営委員会

開催日時：2019年7月21日（日）・8月1日（木）・9月12日（木）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：学会第2回理事会および地域ブロック担当者委員会の報告等

##### 第3回運営委員会

開催日時：2018年9月9日（月）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：機関誌査読計画等の検討

##### 第4回運営委員会

開催日時：2019年11月29日（金）・12月4日（水）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：機関誌査読実施等の検討

#### 第5回運営委員会

開催日時：2019年12月21日（土）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：学会第4回理事会の報告等

#### 第6回運営委員会

開催日時：2020年1月17日（金）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：次年度事業計画書および予算書の検討

#### 第7回運営委員会

開催日時：2020年1月28日（火）・30日（木）・2月7日（金）・10日（月）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：機関誌再査読実施等の検討

#### 第8回運営委員会

開催日時：2020年2月15日（土）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：学会ニュースの紹介、次期運営委員選挙実施の案内等

#### 第9回運営委員会

開催日時：2020年3月8日（日）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：学会第5回理事会の報告等

#### 第10回運営委員会

開催日時：2020年3月26日（木）・31日（火）

開催場所：メールによる会議を実施

議題：令和2年度研究大会（総会を含む）の開催中止について

※別途、事務局会議を適宜実施

#### (2) 研究大会（第60回）の開催

- ・開催校：北九州市立大学（福岡県北九州市）
- ・大会テーマ：「SDG's と社会福祉」
- ・開催日：2019年6月8日（土）～9日（日）
- ・基調講演：テーマ「SDGs と社会福祉」  
基調報告者 松田 美幸 氏（福津市副市長）
- ・シンポジウム：「SDGs から社会福祉へ期待すること」

<シンポジスト>

森川 妙 氏 （北九州 ESD 協議会）「北九州市における SDGs の取り組み」

勅使河原 航 氏 (北九州市立大学) 「学生による SDGs の実践」  
村江 史年 氏 (北九州市立大学) 「SDGs と災害支援・防災活動」

<コメンテーター>

松田 美幸 氏 (福津市副市長)

<コーディネーター>

坂本 毅啓 氏 (北九州市立大学)

### (3) 2019 年度定期総会の開催

- ・開催日：2019 年 6 月 9 日 (日)
- ・会 場：北九州市立大学 (福岡県北九州市)
- ・議事内容：2018 年度事業報告  
2018 年度収支決算および会計監査報告  
2019 年度事業計画  
2019 年度予算  
報告事項 (2019 年度運営委員・事務局体制の紹介、他)

### (4) 機関誌『九州社会福祉学第 16 号』の発行

- ・投稿論文数：論文 7 本、研究ノート 2 本、計 9 本
- ・論文掲載数：論文 4 本
- ・編集作業を次の手続きにより実施
  - ① 査読者 (各論文 2 名) による査読結果に基づき、修正など投稿者に依頼
  - ② 修正された論文について編集委員会にて掲載の可否、掲載区分を決定。  
投稿者に結果通知。
  - ③ 投稿者へ論文掲載料振込依頼文書発送
  - ④ 論文の校正
  - ⑤ 2020 年 3 月に会員あて発送

### (5) 次期運営委員選挙の実施

- ・次期運営委員選挙を次の手続きにより実施
  - ① 選挙管理委員選出
  - ② 会員へ選挙に関する文書発送
  - ③ 選挙管理委員が投票用紙を受け取り (2020 年 3~4 月)
  - ④ 開票 (5 名の運営委員を選出)
  - ⑤ 運営委員会への報告

## 2. 現在、検討している事項

- ・2020 年 6 月開催予定であった第 61 回研究大会 (西九州大学) の中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため) に伴う取扱い事項について
- ・九州地域ブロックの運営に関する規程等の再点検について (継続)

3. その他（課題等）

特になし。

# 一般社団法人日本社会福祉学会 第6期(通算第27期) 役員担当業務一覧

別表-①

氏名	主たる担当業務	担当委員会委員等	備考
金子 光一	会長	運営委員会	社会政策関連学会協議会 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (理事)
木原 活信	副会長 渉外担当(国外)	運営委員会 国際学術交流促進委員会 (委員長)	日本社会福祉系学会連合 (会長) ソーシャルケアサービス研究協議会
坪 洋一	総務担当	運営委員会 (事務局長)	事務局連絡会担当 社会学系コンソーシアム (副理事)
和気 純子	財務担当	運営委員会 全国大会運営委員会 地域ブロック担当者委員会 (委員長)	事務局連絡会担当 日本社会福祉系学会連合 (事務局長)
山縣 文治	研究担当	運営委員会 研究委員会 (委員長) 全国大会運営委員会 (委員長)	秋大会担当
岡部 卓	研究担当	研究委員会 学会賞審査委員会	
秋元 美世	研究担当	研究委員会 研究倫理委員会 (委員長)	
久保 美紀	渉外担当(国内)	若手・女性研究者に対する支援検討委員会 (委員長)	ソーシャルケアサービス研究協議会 人文社会科学系学協会男女共同参画推進 連絡会 (GEAHSS)
本郷 秀和	研究担当	研究委員会 全国大会運営委員会 国際学術交流促進委員会	フォーラム担当
柴田 謙治	機関誌担当	運営委員会 機関誌編集委員会(委員長)	
山野 則子	渉外担当(広報)	広報委員会 (委員長)	
今井 小の実	機関誌担当	機関誌編集委員会(副委員長) アーカイブ化推進委員会	
大谷 京子	研究担当・総務担当	研究委員会 全国大会運営委員会 (副委員長) 事務局次長	春大会担当 事務局連絡会担当
中村 和彦	地域ブロック担当	北海道地域ブロック担当 国際学術交流促進委員会	
都築 光一	地域ブロック担当	東北地域ブロック担当 研究倫理委員会	
荒井 浩道	地域ブロック担当	関東地域ブロック担当 研究倫理委員会	社会学系コンソーシアム
山田 壮志郎	地域ブロック担当	中部地域ブロック担当 機関誌編集委員会(副委員長)	
岡田 忠克	地域ブロック担当	関西地域ブロック担当 国際学術交流促進委員会	
杉山 博昭	地域ブロック担当	中国・四国地域ブロック担当 広報委員会	
岩井 浩英	地域ブロック担当	九州地域ブロック担当 全国大会運営委員会	
大島 巖	監 事		
牧里 毎治	監 事		

一般社団法人日本社会福祉学会 各種委員会構成

別表-②

委員会名	第6期委員会委員 (◎：委員長／○：副委員長)			
機関誌編集委員会	◎柴田 謙治 石川 時子 川島 ゆり子 小林 理 村田 文世	○今井 小の実 伊藤 嘉余子 空閑 浩人 斎藤 雅茂 山井 理恵	○山田 壮志郎 岩崎 香 倉持 史朗 相馬 大祐	金子 充 小泉 広子 鶴野 隆浩
学会賞審査委員会	◎白澤 政和 岡部 卓 三本松 政之	上野谷 加代子 永岡 正己	黒田 研二	小林 良二
広報委員会	◎山野 則子 杉山 博昭 福島 喜代子	有村 大士	小櫃 俊介	高山 恵理子
研究委員会	◎山縣 文治 大谷 京子	本郷 秀和	岡部 卓	秋元 美世
国際学術交流促進委員会	◎木原 活信 中村 和彦 郭 芳 包 敏	岡田 忠克 金 成垣 李 善恵	本郷 秀和 黒田 文	浅野 貴博 阪口 春彦
研究倫理委員会	◎秋元 美世 都築 光一	荒井 浩道	小松 理佐子	平田 厚
全国大会運営委員会	◎山縣 文治 本郷 秀和 廣野 俊輔 石附 敬	○大谷 京子 和気 純子 三好 禎之 木下 武徳	岩井 浩英 都築 光一 山本 美香	相澤 仁 塩村 公子 岡部 真智子
地域ブロック担当者委員会	◎和気 純子 中村 和彦 岡田 忠克	都築 光一 杉山 博昭	荒井 浩道 岩井 浩英	山田 壮志郎
アーカイブ化推進委員会	◎元村 智明 今井 小の実	蜂谷 俊隆	橋本 理子	岡本 民夫
若手・女性研究者に対する 支援検討委員会	◎久保 美紀 高良 麻子 永野 咲	鈴木 浩之 保正 友子	千葉 伸彦	中里 哲也